



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 荒田 知  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 コーポレート統括本部長 (氏名) 大島 敬二 TEL 06-6358-4741  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	42,189	17.3	4,211	74.3	4,447	65.0	3,085	80.6
2023年3月期第3四半期	35,972	27.9	2,416	106.1	2,695	94.4	1,708	104.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,206百万円 (97.6%) 2023年3月期第3四半期 2,128百万円 (48.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 141.32	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	円 銭 76.73	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第3四半期	百万円 71,638	百万円 49,494	% 69.1	円 銭 2,267.03
2023年3月期	百万円 67,176	百万円 47,172	% 69.9	円 銭 2,150.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 49,494百万円 2023年3月期 46,953百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 69.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年3月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当22円 記念配当2円

” 期末配当金の内訳 普通配当43円 記念配当2円

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	10.6	5,500	26.0	5,750	23.3	4,000	20.1	183.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）コスモピアハイテック株式会社、除外 ー社 （社名）  
（注）詳細は、添付資料P.9「四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	23,781,394株	2023年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,949,040株	2023年3月期	1,948,980株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	21,832,404株	2023年3月期3Q	22,264,390株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの事業環境につきましては、社会のデジタル化や脱炭素化を背景にエレクトロニクス及び自動車関連の投資が堅調に推移し、主に世界的な電気自動車(EV)シフトによる需要が継続いたしました。生産面につきましては、主に汎用性の高い標準製品において部品の調達状況が改善し、製品リードタイムの正常化及び受注残高の消化が進みましたが、カスタム製品の部品調達は不安定な状況が継続いたしました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は特に国内市場において電気自動車(EV)・バッテリー分野がけん引し、過去最高となる48,190百万円となりました。売上高につきましては前年同四半期比で17.3%増加し、過去最高となる42,189百万円となりました。利益面につきましては、販管費が増加いたしました。主に増収により営業利益は前年同四半期比で74.3%増加し、4,211百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は80.6%増加し、3,085百万円となり、いずれも過去最高を更新いたしました。

	前第3四半期連結累計期間 (2023年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2024年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	47,153	48,190	2.2
売上高	35,972	42,189	17.3
営業利益	2,416	4,211	74.3
経常利益	2,695	4,447	65.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,708	3,085	80.6

セグメント別の経営成績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失(△) (百万円)
装置事業	41,586	36,322	3,761
サービス事業	5,720	5,364	542
その他事業	1,162	793	△89
連結消去	△279	△290	△2
計	48,190	42,189	4,211

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、受注高は前年同四半期比で汎用性の高い標準製品が減少したものの、カスタム製品は自動車関連を中心に増加いたしました。売上高につきましては、標準製品・カスタム製品ともに増加いたしました。海外市場におきましては、受注高は中国及び欧州が減少し、前年同四半期を下回りました。売上高につきましては、北米、欧州、韓国、台湾が増加し、前年同四半期を上回りました。

エナジーデバイス装置につきましては、電気自動車（EV）・バッテリー向けの投資拡大により、主に国内において充放電試験用チャンバーが好調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で大幅に増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、主にメモリ関連の投資抑制の影響を受け、受注高は前年同四半期比で減少いたしました。受注残高の消化により売上高は増加いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、受注高は41,586百万円と前年同四半期並みとなり、売上高は17.7%増加し36,322百万円となりました。利益面につきましては、販管費が増加したものの主に売上高の増加により、営業利益は前年同四半期比で61.5%増加し3,761百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	増減率(%)
受注高	41,031	41,586	1.4
売上高	30,866	36,322	17.7
営業利益	2,329	3,761	61.5

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、受注高は前年同四半期並みとなり、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、車載用バッテリーを中心に受託試験が好調に推移し、前年同四半期比で受注高・売上高ともに増加いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期比で受注高は9.6%増加し5,720百万円、売上高は14.8%増加し5,364百万円となりました。利益面につきましては、売上高の増加及び受託試験事業における原価率の改善により、営業利益は前年同四半期比で193.0%増加し542百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	増減率(%)
受注高	5,216	5,720	9.6
売上高	4,672	5,364	14.8
営業利益	185	542	193.0

<その他事業>

環境保全事業及び植物育成装置事業を中心とするその他事業では、新たに手掛けている植物の水耕栽培と陸上養殖を組み合わせたアクアポニックスなどの受注を獲得いたしました。主に森づくりが減少し、受注高は1,162百万円と前年同四半期並みとなりました。売上高につきましては、植物研究用装置や野菜の販売が堅調に推移し前年同四半期比で20.8%増加し793百万円となりましたが、利益面につきましては89百万円の営業損失となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	増減率(%)
受注高	1,148	1,162	1.3
売上高	656	793	20.8
営業損失(△)	△96	△89	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は71,638百万円で、前連結会計年度末と比べ4,462百万円の増加となりました。その主な要因は、受注残高の増加に伴う仕掛品等の棚卸資産の増加3,893百万円、売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権）の回収による減少2,250百万円、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加や、繰延税金資産の増加等による投資その他の資産の増加1,152百万円、連結子会社による事業譲受に伴うのれんの計上等による増加1,070百万円、取得等による土地の増加537百万円等によるものであります。また、負債は22,144百万円で前連結会計年度末と比べ2,140百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加2,505百万円、仕入債務（支払手形及び買掛金並びに電子記録債務）の減少449百万円等によるものであります。純資産は49,494百万円で前連結会計年度末と比べ2,322百万円の増加となりました。その主な要因は、当第3四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益が3,085百万円計上された一方、配当金として1,545百万円が利益処分されたこと等による利益剰余金の増加1,534百万円、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加685百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、2023年10月27日に発表した予想数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,998	13,516
受取手形、売掛金及び契約資産	16,097	12,834
電子記録債権	3,540	4,552
有価証券	302	302
商品及び製品	3,010	3,148
仕掛品	3,562	6,346
原材料及び貯蔵品	4,885	5,857
その他	2,641	2,563
貸倒引当金	△37	△36
流動資産合計	48,000	49,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,013	5,131
土地	4,662	5,200
その他（純額）	2,825	3,308
有形固定資産合計	12,501	13,640
無形固定資産		
のれん	601	1,672
その他	625	641
無形固定資産合計	1,227	2,313
投資その他の資産	5,447	6,600
固定資産合計	19,176	22,553
資産合計	67,176	71,638
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,469	4,628
電子記録債務	5,145	4,536
短期借入金	90	2,596
未払法人税等	603	528
賞与引当金	519	202
役員賞与引当金	14	-
製品保証引当金	189	195
受注損失引当金	10	1
その他	6,234	6,539
流動負債合計	17,277	19,228
固定負債		
長期借入金	203	144
退職給付に係る負債	243	265
役員株式給付引当金	128	191
役員退職慰労引当金	4	2
資産除去債務	23	24
その他	2,123	2,287
固定負債合計	2,726	2,915
負債合計	20,003	22,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,158	7,053
利益剰余金	33,673	35,208
自己株式	△3,318	△3,318
株主資本合計	44,408	45,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,359	1,783
土地再評価差額金	△663	△663
為替換算調整勘定	1,854	2,540
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	2,544	3,655
非支配株主持分	218	-
純資産合計	47,172	49,494
負債純資産合計	67,176	71,638



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	35,972	42,189
売上原価	23,627	27,026
売上総利益	12,345	15,163
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,217	3,357
賞与引当金繰入額	51	66
役員株式給付引当金繰入額	27	57
製品保証引当金繰入額	101	106
貸倒引当金繰入額	8	-
のれん償却額	93	136
その他	6,428	7,228
販売費及び一般管理費合計	9,929	10,951
営業利益	2,416	4,211
営業外収益		
受取利息	12	34
受取配当金	128	158
補助金収入	68	43
貸倒引当金戻入額	-	0
為替差益	45	-
その他	61	54
営業外収益合計	316	291
営業外費用		
支払利息	26	20
支払手数料	6	6
為替差損	-	15
その他	4	13
営業外費用合計	37	56
経常利益	2,695	4,447
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	6	0
固定資産除却損	4	6
特別損失合計	10	6
税金等調整前四半期純利益	2,686	4,442
法人税、住民税及び事業税	979	1,347
四半期純利益	1,706	3,095
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,708	3,085

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,706	3,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	424
為替換算調整勘定	375	685
退職給付に係る調整額	△3	0
その他の包括利益合計	421	1,111
四半期包括利益	2,128	4,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,129	4,196
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2023年8月22日付でコスモピアハイテック株式会社を設立したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、コスモピアハイテック株式会社は当社の特定子会社に該当していません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	30,849	4,472	650	35,972	—	35,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	199	6	222	△222	—
計	30,866	4,672	656	36,195	△222	35,972
セグメント利益又は損失(△)	2,329	185	△96	2,417	△0	2,416

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	36,284	5,129	775	42,189	—	42,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	235	18	290	△290	—
計	36,322	5,364	793	42,480	△290	42,189
セグメント利益又は損失(△)	3,761	542	△89	4,214	△2	4,211

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「装置事業」セグメントにおいて、コスモピアハイテック株式会社が日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社の事業を譲り受けました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,191百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に処理された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。